



## 教育方針

### 英語

2年間で医師として必要な英語力の基礎を総合的に身につけ、医学に関する語彙等の英語知識を習得する。また、語学学習を通じて異文化に触れることにより自国文化を再認識し、多様な価値観への理解を深めることで、国際的な視野を持つ医師を育成することを目的とする。

### 第二外国語（ドイツ語・フランス語・中国語・ロシア語）

第二外国語選択は第1学年を主とし、英語に加えて新たな外国語を学ぶことで、新しい価値観や世界観を知り、より複眼的な視点から言葉や文化を捉える能力の獲得を目指す。また、第2学年以降も自由選択科目として医学部海外研修などでも応用できるよう長期的学習の機会を提供している。

## 研究内容及びアピールポイント

### 英語

飯塚 秀樹（博士・英語学）

英国University of Bath, Department of European Studies and Modern Languages 修了。

通訳者養成の手法を応用した英語教授法 The Consecutive Interpreting Approachによる外国語指導法の効果とその汎用性の確立に向けた基礎的研究を行っている。

2011年度、（一般財団法人）ELEC英語教育協議会主催ELEC賞（研究部門）受賞。

2019年度、成城大学ベストティーチャー賞受賞。

### 佐藤 利哉

専門は英語学。書籍・新聞・雑誌などに書かれている文字情報と話し言葉を集積した大規模データ（コーパス）を用いて、医学文献における語彙の連語関係を実証的に研究。symptomとsignの違い、painとacheの使い分けといった問題に対して新たな解釈を提案する。この他、看護学生向けの英語教材の開発に携わる。

### 坂本 洋子（博士・英語学）

専門は音声学・音韻論である。英語学習者のリスニングと発話に関する研究や自閉症スペクトラム児のことばの発達についての国際共同研究（PhonBank Project）を行っている。また近年はVRやロボット等のテクノロジーを活用した英語教育・医学部教育と研究にも力を入れている。2019年からはOECD Skills Outlook翻訳プロジェクトに携わる。京都大学高等教育研究開発推進センター 第8期MOSTフェロー。

### William G. Hassett

English instructor with a comprehensive understanding of the Japanese educational system and experienced in promoting effective communicative skills. Also engaged in developing teaching materials that are specific for medical university students.

2014 founded, and currently managing, a Self-Access Learning Center at DMU with an interest in using all forms of media, and web 2.0 technologies, to enhance an environment for improving authentic English skills for students and staff.

Capable at improving academic manuscripts, providing aid for peer review communications, and developing presentation skills for both doctors and faculty.

### 廣田 美玲（博士・文学）

専門はイギリス文学・文化。主に18世紀後半から19世紀前半の女性作家の作品などを歴史的、文化的な観点から読み解く試みをしている。また、医学教育に関連し、文学作品における医療表象や、イギリスにおける初期女性医学教育と女性医師たちというテーマにも取り組んでいる。

### ドイツ語

能登 慶和

専門は第一言語習得。その他に第二言語習得および外国語学習（ドイツ語）との関連も視野に入れている。特に近年ではICTの外国語教育への積極的な導入を図り、授業の活性化や学習効果の研究に注力している。教育面では、高等学校から地域の市民講座まで、高大接続ならびに生涯学習としての外国語教育に取り組んでいる。

### ロシア語

竹内 高明

ウクライナとロシアの20世紀（殊に革命前後）の文学を研究している。2003年にはのちのノーベル賞作家、スヴェトラーナ・アレクシエーヴィチ氏の日本各地での講演に通訳として同行。1994～2013年に非営利活動法人「チェルノブイリ救援・中部」駐在員としてウクライナ国ジトーミル州での医療支援に携わる。